

INPROへの日本の参加について

平成18年7月4日

外務省

文部科学省

経済産業省

1. INPROの概要

(1) INPRO (International Project on Innovative Nuclear Reactors and Fuel Cycles) は、増加するエネルギー需要への対応の一環として、安全性、経済性、核不拡散性等を備えた革新的原子力システムの導入環境の整備等の支援を行うことを目的として、国際原子力機関 (IAEA) に創設されたプログラムの一つである。2000年のIAEA総会決議に基づき開始された。

(2) INPROは全てのIAEA加盟国及び国際機関に開かれており、2006年5月時点でのINPRO参加国は25カ国+1機関である。

アルゼンチン、アルメニア、ブラジル、ブルガリア、カナダ、チリ、中国、チェコ、仏、独、インド、インドネシア、日本、オランダ、モロッコ、韓国、パキスタン、ロシア、スロバキア、南ア、スペイン、スイス、トルコ、ウクライナ、米国、欧州委員会

(3) INPROの主たる活動は、①原子力システムを経済性、安全性、廃棄物問題、及び核不拡散性等の観点から評価する方法論 (INPROメソドロジー) の開発とINPROメソドロジーを用いた原子力システム評価、②今後原子力システムの導入を進める上で必要とされる規制体制、人材育成等のインフラストラクチャー整備のための活動、及び③研究開発に関連する協力等となっている。

2. INPROへの参加

我が国は、本年4月よりINPROに参加。

3. 今後の日本の活動予定

INPROは、国内における原子力の利用促進、および途上国への我が国の技術の導入促進に資するものとの認識に基づき、核不拡散、機微技術の取り扱い等に留意しつつ、INPROメソドロジーを用いた原子力システムの評価や、インフラストラクチャー整備にかかる事業への参加を通じて、原子力利用の拡大に必要な情報を提供すると共に、原子力産業に有益な情報収集の場としても活用する予定。

(了)